

2024年7月24日

三菱地所株式会社
J.フロント都市開発株式会社
日本郵政不動産株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社中日新聞社

「(仮称) 錦三丁目25番街区計画」の建物名称を
「ザ・ランドマーク名古屋栄」に決定
～名古屋の新たなシンボルタワーが栄に誕生～

三菱地所株式会社、J.フロント都市開発株式会社、日本郵政不動産株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社中日新聞社の5社は、名古屋市中区錦三丁目において開発中の「(仮称) 錦三丁目25番街区計画」(以下、「本計画」)について、建物の名称を「ザ・ランドマーク名古屋栄」(英語名称: The Landmark Nagoya Sakae)に決定しましたのでお知らせいたします。本計画の竣工は2026年3月、施設の開業は2026年夏頃を予定しております。

本計画は名古屋随一の商業エリア「栄」の中心に位置し、「名古屋の新たなランドマークとなる国内外の文化・交流価値創造拠点」をコンセプトに、栄エリアの都市機能強化をめざし開発を推進しております。栄エリアで最も高い約211mとなる本計画内には、オフィス、名古屋初の「コンラッド・ホテルズ&リゾーツ」や栄エリア初の「TOHOシネマズ」が進出し、商業ゾーンは「J.フロントリテイリンググループ」による商業施設が整備されます。本計画が中日ビル、テレビ塔とともに、名古屋の新たなシンボルエリアとなることで、栄を世界中から人々の訪れる文化交流都市へと躍進させ、名古屋の国際競争力を高めていきたいという想いを込め、建物の名称を「ザ・ランドマーク名古屋栄」に決定いたしました。



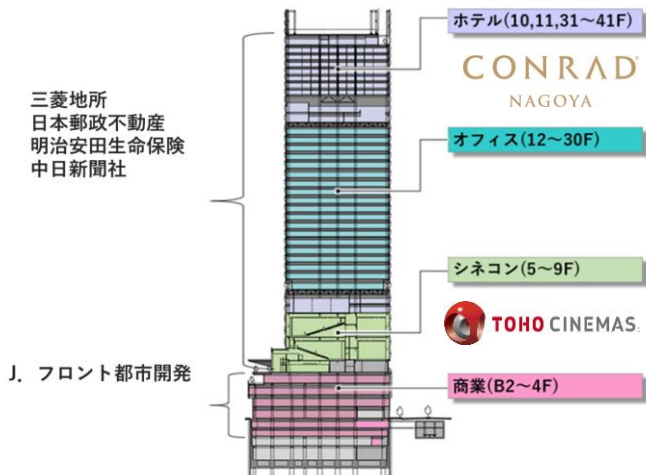
▲外観イメージ(南東側)



▲久屋大通南側からの外観イメージ(左側が本計画)

本計画を通じ、栄エリアの重層的な都市機能整備を推進することで、栄の求心力を高める新たなランドマークを生み出し、名駅エリアと合わせた2核両輪で名古屋の国際競争力強化に貢献してまいります。

■権利関係・用途構成



▲40Fホテルルーフトップバーからの眺望イメージ

■周辺地図



▲広域図



▲狭域図

■計画概要

建物名称：ザ・ランドマーク名古屋栄

所在地：名古屋市中区錦三丁目2501番1、2501番2、2514

交通：地下鉄東山線・名城線「栄」駅直結

敷地面積：4,866.40㎡

延床面積：約109,700㎡

階数・高さ：地上41階、地下4階、塔屋1階・高さ約211m

構造：鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造

主要用途：ホテル、オフィス、シネコン、商業、駐車場

事業者：三菱地所株式会社、J. フロント都市開発株式会社、日本郵政不動産株式会社、
明治安田生命保険相互会社、株式会社中日新聞社

設計：株式会社三菱地所設計、株式会社竹中工務店

監理：株式会社竹中工務店

コスト管理業務：株式会社三菱地所設計

新築施工者：株式会社竹中工務店

新築工事着手：2022年7月1日

竣工：2026年3月（予定）

開業：2026年夏頃（予定）

以上